

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成22年度技術情報第8号(野菜, 花きのオオタバコガ) について (送付)

このことについて、下記のとおり情報を取りまとめましたので送付します。

南薩地域のオクラを中心に、オオタバコガが早い時期から多く発生していますので、初期防除に努めてください。

1 農作物名 オクラ, スイカ, キク等

2 病害虫名 オオタバコガ

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 多

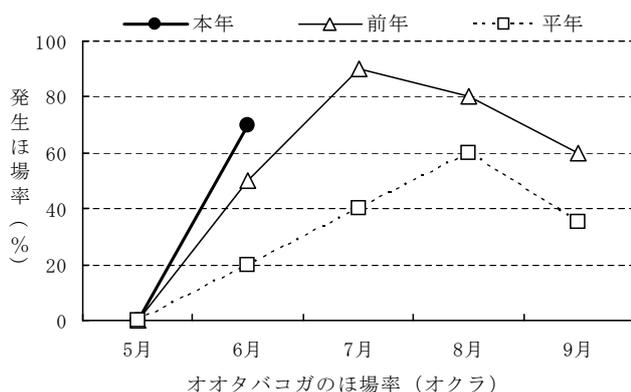
(3) 発生時期 早 い

4 情報の根拠

(1) 6月中旬の巡回調査では、オクラでの発生ほ場率が70% (平年20%) , スイカで同67% (平年1%) と平年より高く、オクラでは発生程度の高いほ場も認められた。

(2) フェロモントラップへの誘殺数は、南さつま市金峰町で4月以降平年 (過去4年) より多く、南九州市穎娃町, 霧島市溝辺町では前年より少ないが前々年より多い。

(3) オクラ, スイカ等で今後果実被害の増加が予想される。



オクラ (左) , スイカ (右) の花を食害する幼虫

5 防除上注意すべき事項

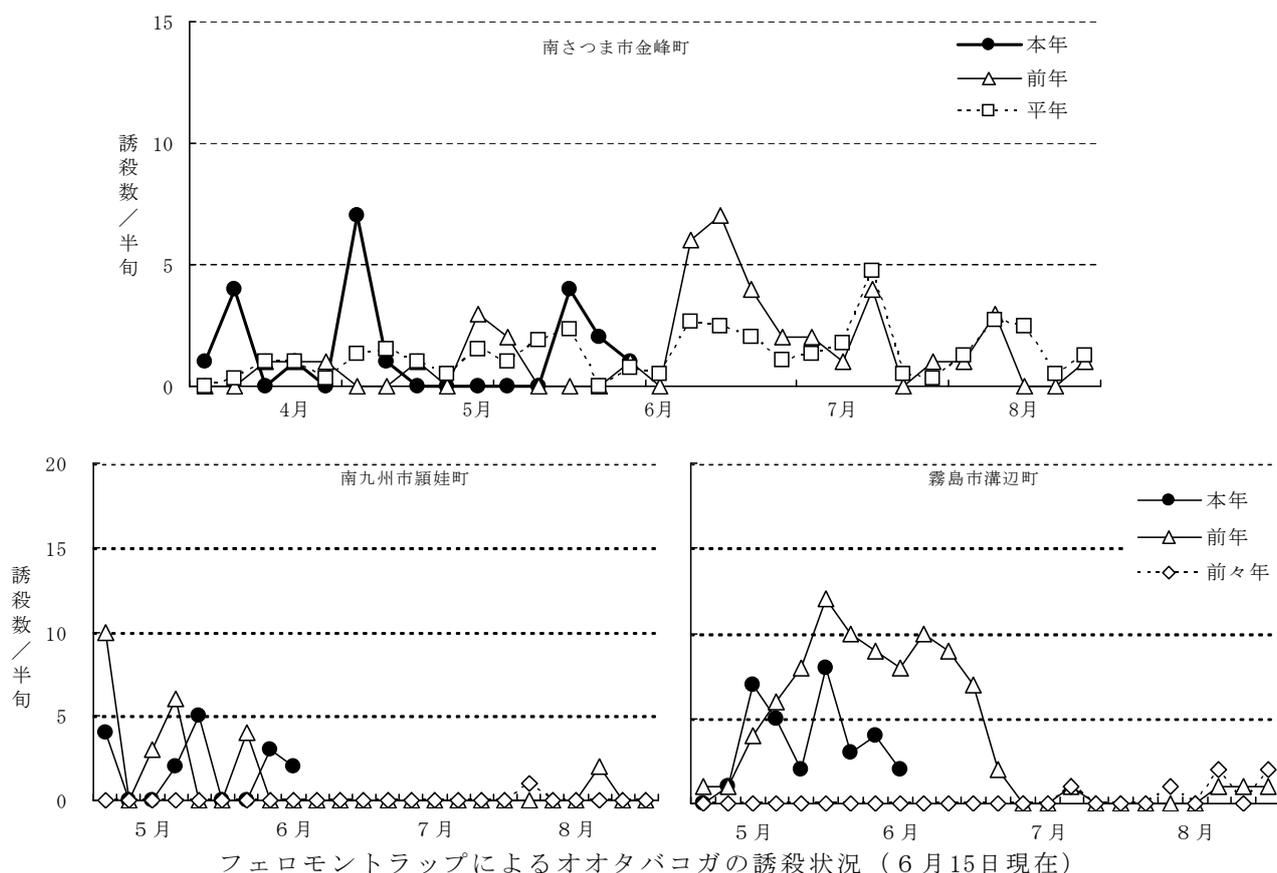
(1) 中・老齢幼虫は薬剤に対する抵抗力が強いので、若齢幼虫期に防除する。

(2) 幼虫は主に花の中や果実に生息するので、薬剤は植物体の上部を中心に散布する。

(3) オクラでの防除は花が開いている午前中に行なうと効果的である。

(4) 薬剤により殺虫効果が異なるので、薬剤感受性試験結果 (参考資料) を参考にする。

(5) 収穫や管理作業時に発見した幼虫はその都度捕殺し、被害果実や蕾等も除去する。



(参考資料)

オオタバコガの薬剤感受性試験結果

(検定虫：2008年9月に指宿市新西方のオクラから採集した飼育1世代幼虫)

表1 オオタバコガ1～2齢幼虫に対する各種薬剤の殺虫効果(2008)

供試薬剤	系統名	希釈 倍数	補正死虫率 (%)			食害面積率 ^{注1)}		
			24時間後	48時間後	72時間後	24時間後	48時間後	72時間後
アタブロン乳剤		2,000	26.1	61.7	92.3	+	++	+++
マトリックフロアブル	I G R 剤	2,000	3.9	12.0	54.1	+	++	+++
ファルコンフロアブル		2,000	0	50.0	85.7	+	+	+
アディオン乳剤	合成ピレス ロイド剤	2,000	42.9	52.0	52.0	+	++	+++
トレボン乳剤		1,000	28.4	46.4	46.4	+	++	+++
ラービフロアブル	カーバメー ト剤	1,000	100	100	100	±		
ガードジェット水和剤 ^{注2)}		1,000	0	10.1	10.1	+	++	+++
ゼンターリ顆粒水和剤	B T 剤	1,000	7.3	92.6	92.6	±	+	+
デルフィン顆粒水和剤		1,000	18.0	100	100	±	±	
アフーム乳剤		2,000	100	100	100	±		
コテツフロアブル		2,000	80.8	84.1	88.1	+	+	+
スピノエース顆粒水和剤	その他	5,000	100	100	100	-		
トルネードフロアブル	新規系統剤	2,000	0.4	84.1	88.1	+	+	+
フェニックス顆粒水和剤		2,000	100	100	100	-		
プレオフロアブル		1,000	92.9	100	100	±	±	
無処理			-	-	-	+	++	+++

注1) 食害面積率 - : 食害なし, ± : 1%以下, + : 1~10%, ++ : 10~25%, +++ : 25%以上

注2) ガードジェット水和剤 2008年12月18日失効

(※農薬使用に当たっては各品目ごとに登録を確認してください。)